

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

事業所名 発達支援ルームAQUA

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2	0	・小学校高学年以上の活動では、部屋が狭いこともある。その時は、公園やスポーツ施設、外出プログラムにて対応している。	・スカイルームは小学生が活動するには狭い時がある。活動スペースの確保について今後検討したい。
	2	職員の配置数は適切である	7	1	0	・安全確保などの観点から、利用者一名に対しスタッフ2人を配置している場合が多い。 ・職員の体調不良や家庭の都合などで十分な配置が難しい時があるが、来所を止めたり保護者に見守りをお願いするなどして対応している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	1	・段差はあるが低いので、歩くことのできる肢体不自由のお子さんでも対応できている。	・現状では困ってはいないが、車椅子を利用する利用者などに関しては段差や入口の狭さなど課題が見られる。今後は利用者に応じ、バリアフリー化等について検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	0	・ミーティングの時間があり、活動についてやその他のことが話し合われている。 ・毎回、スタッフ全員でミーティングしいい点、改善点を話し合っている。	・全職員の意見を反映出来るような体制作りが必要であると認識し、取り組みたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	・意見箱を設置している。 ・保護者からの意見があった場合は、スタッフ皆で情報を共有し、改善点を話し合い支援の質の向上をはかっている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0	・HPに公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	3		・第三者委員会の設置については今後の課題とする。また、設置の有無について、スタッフ間での共有が不十分なので、会議等で周知の徹底を図りたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	・定期的に勉強会、研修を行っている。	・スタッフの専門性や個別の関心に合わせた研修会(特に症例検討)の計画・立案に努めたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	・専門職を配置し、検査などのアセスメントに従事させている。	・継続する。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	・WISC・Vineland-IIなど必要なアセスメントツールを適宜組み合わせ使用している。	・継続する。	
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・毎回スタッフミーティングで活動内容を話しあい決めている。	・困ったときに相談しやすい関係性ではあるが、それぞれの職員が忙しくてゆっくり話をする時間が少ない。適切な時間管理等の対応を検討したい。	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2	0	・毎回スタッフミーティングで活動内容を話しあい決めているのと、その日の児童に合わせた遊びをしている。 ・固定化しないよう利用者に合わせて内容を調整している。	・遊びが同じになりやすくバリエーションを増やしたい。	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	1	・休日や長期休暇中は、屋外での活動(船釣り・滝遊びなど)を企画して実施している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	7	1	0	・本人の発達段階や対人緊張に合わせ、個別にするか集団にするか等を判断している。	・個別活動と集団活動それぞれのメリット・デメリットを踏まえた上で、支援計画の作成に努めている。
	15	7	1	0	・担当と役割を確認している。 ・毎回スタッフミーティングで活動内容を話しあい決めているのと、その日の児童に合わせた遊びを実施している。	
	16	8	0	0	・ミーティングにて振り返り、アセスメントや意見など出している。 ・活動終了後、スタッフ全員で振り返りを行っている。 ・午前、午後終了後の振り返りを毎日実施している。	
	17	7	1	0	・活動記録を毎回記入し、それを見ながら前回とは違った活動にはなるべくならないよう工夫してしている。	
	18	7	1	0	・子供の状態の変化や保護者のニーズを適宜取り入れられるように努めている。	
	19	5	2	0		・対象児により異なるが、さらなる充実に向け、取り組みたい。また、支援ガイドラインについて職員の理解を深められるように研修会などを実施し、さらなる充実を図りたい。
関係機関や保護者との連携	20	7	1	0	・子どもの担当者が会議に参加し、課題や対策方法を関係者と情報共有している。	・可能な限り参加しているが、全てとは言えないため、今後は出来るだけ参加できるように努めたい。
	21	4	2	1	・送迎を行っていない。	
	22	1	3	3	・該当者なし。	
	23	5	2	0	・モニタリング会議を小学校と行う事や、サポートブックを作り情報提供に努めている。	・対象児により異なるが、さらなる充実に向け、取り組みたい。
	24	7	1	0	・障害福祉サービスに移行する児童がいる場合は行っている。	
	25	5	2	0	・発達障害者支援センター等が主催する研修会等に参加できるように努めている。	・継続して実施する。
	26	1	0	6	・利用している子供達は日常的に地域で生活しているため、特に交流する場面は作っていない。	・不慣れた集団では緊張が強くなる子や落ち着かなくなる子、変化が苦手な子がいるので、利用している子ども達の特性に応じて交流の必要性を検討したい。
	27	5	2	0	・管理者が参加している。	
	28	8	0	0	・利用の前後に保護者に活動の報告や学校の様子などを聞く時間を設けるようにしている。	・一昨年度まで、新型コロナ対策として保護者の施設内への立ち入りを制限していたこともあり、十分に情報交換することが難しかった。人員配置を工夫したり、相談支援なども活用して対応したい。
29	3	3	2	・特定のプログラムは実施していないが、子供への対応等について個別に適宜相談を行っている。また、移行支援シートやサポートブック作成を通して、子どもの特性理解に向け取り組んでいる。	・ペアレント・トレーニング等の実施については、保護者のニーズを把握し、可能な限り対応していきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	0	・契約時に個別に説明するとともに、重要事項等は事業所内に掲示してお伝えしている。	・継続して取り組みたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	・相談を受けた後、対策や解決策を保護者に伝えたり、学校と話している。 ・気になることがある場合は面談等を行い、保護者の悩みや相談に応じている。	・継続して取り組みたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	3	・グループ活動では、保護者間のピアカウンセリングの要素を意識する場合もある。 ・保護者向けの勉強会を行っており、その中で保護者同士のつながりを保障していると思う。	・発達段階や性別・地域など、対象ごとに保護者同士の交流会を行うなどの支援を検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	・相談箱を設けて対応している。苦情がある時は、管理者を中心に迅速に対処するとともに、別途時間を設けて話を聞くなどの対応をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	2	・会報はないが、連絡体制としてはメールを利用し必要な事があれば随時、発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7	1	0	・個人情報に関わるものは鍵付きの戸棚で管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	0	・児童や保護者の意思疎通の仕方にあわせてコミュニケーションをとっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	4	・地域の祭りで紹介したりパンフレットを配って紹介している。	・地域の保育士等を招いた勉強会等を予定している。 ・当事業所の活動を理解してもらえるような遊び体験教室などを開催できるか検討したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	0	・実施している。	・保護者への周知が不十分である。今後、より効率的な周知の仕方について検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	・年2回、定期的に避難訓練を実施するとともに、その様子を事業所内に掲示している。	・継続して実施する。 ・保護者への周知が不十分である。今後、より効率的な周知の仕方について検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	・研修に参加したスタッフが伝達講習を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	4	・身体拘束については全職員で研修を実施している。	・子どもや保護者への説明および計画書への記載については今後、適切に対応したい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	0	・食事やおやつ提供はしていない。調理活動の際はアレルギーがないか事前に保護者に確認している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	・事例集はないが、毎日のミーティングでヒヤリハットがあった場合報告して共有している。		